



かながわこうぎょう

神奈川県立 神奈川工業高等学校



所在地：横浜市神奈川区平川町19番地1号 〒221-0812
 電話：045(491)9461
 FAX：045(413)4101
 URL：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanagawa-th/
 創立：明治44年5月
 課程：全日制
 設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	3年	計
機械科	80	80	76	236
建設科	81	78	74	233
電気科	120	119	114	353
デザイン科	40	40	39	119
学級数	8	8	8	24

(生徒、学級数については令和6年4月現在)

<学校案内図>

利用交通機関

- 東急東横線東白楽駅より
・徒歩3分
- JR京浜東北線・横浜線東神奈川駅より
・徒歩8分
- 京浜急行線京急東神奈川駅より
・徒歩10分



来たる国際社会や超スマート社会で活躍できる Society5.0 エンジニア・デザイナーの育成を目指します。

創造的発想と専門力！

- ◆明治44年に神奈川県で最初の工業学校として設立され、令和6年に**創立113周年**を迎えます。日本の産業界で活躍する人々の中にも多くの卒業生がいます。
- ◆教育目標は**来たる国際社会や超スマート社会で活躍できるSociety5.0エンジニア・デザイナー**の育成です。令和4年度より神奈川県から**STEAM教育研究推進校**の指定を受け、より実践的で創造力豊かな教育を目指します。
- ◆令和6年度学校説明会を次のとおり実施します。
7/20(土)、9/7(土)、11/16(土)、12/14(土)



公式 YouTube

恵まれた環境と施設

- ◆東白楽、東神奈川、京急東神奈川の**各駅から近く**、県内の様々な地域から生徒が通学しています。
- ◆平成7年に新築された校舎は、冷暖房設備を備えた10階建てのビルで、様々な実習施設、屋内プール、広い食堂、夜間照明付のグラウンド、全天候型テニスコートなどを備えており、施設がとても充実しています。



室内プール

食堂

充実した学校行事

遠足・球技大会・体育祭・文化祭・修学旅行等があります。また、**企業の施設見学**や**課題研究発表会**等、工業高校ならではの行事もあります。



遠足



修学旅行



球技大会



体育祭



文化祭



課題研究発表会

盛んな部活動

- 【運動部】陸上競技・サッカー・ラグビー・ハンドボール
野球・バスケットボール・バレーボール・バドミントン
卓球・剣道・柔道・弓道・相撲・水泳・水球・ダンス
・硬式テニス・ソフトテニス・ワンダーフォーゲル
- 【文化部】映画研究・音楽・写真・鉄道研究・陶芸・園芸
アマチュア無線・茶道・ロボティクス・クリエイション
吹奏楽・放送・美術・eスポーツ・料理・ものづくり研究
- 【同好会】イラスト漫画・電気研究・建築研究

★水球・写真・ものづくり研究が全国大会に出場。

神奈川工業ではどんな学びをするの？

本校では国語や数学などの共通科目に加え、専門科目を学びます。**60～70%が共通科目、30～40%が専門科目**です。
選択科目により、将来の進路(大学進学・就職)に合わせて、共通科目と専門科目の割合を変えることができます。

また、本校では、理数科目・工業科目・外国語等を用いた問題解決力を養成する「**神工STEAM教育**」を実践しています。

共通科目	選択	工業科目	(学習の割合)
------	----	------	---------

教育活動の特徴

神奈川工業高校には「4つの科」があり、それぞれ特色ある教育活動を行っています

機械科

～Machinery～

- ◆機械や部品を設計・加工するための知識・技術、機械を制御するためのメカトロニクス技術等を学びます。
- ◆実習では旋盤やフライス盤を使った金属加工や溶接、コンピュータ製図などを体験しながら学んでいきます。



建設科

～Architecture～

- ◆建築物の構造や材料、設計や施工方法、建築法規、製図等を学びます。
- ◆実習では建築物の組立・解体や、測量、CADなどを体験しながら学んでいきます。



電気科

～Electricity～

- ◆1年次には電気・電子・情報の幅広い内容を学び、2年次からは電気と電子情報のコースに分かれて学びます。
- ◆実習ではアンプ付きスピーカーの製作、デジタル時計の製作、ロボットプログラミングなどを体験しながら学んでいきます。



デザイン科

～Design～

- ◆日常製品をデザインするプロダクトデザイン、広告や印刷に関わるビジュアルデザイン等を学びます。
- ◆レタリングや製品・広告を企画・計画、製作しデザインワークの過程などを体験しながら学んでいきます。



官民連携で展開するIT人材育成のための新しい教育モデル「かながわP-TECH」、 県立高校生目的別学習活動コンソーシアム「次世代建築リーダー育成コンソーシアム」

「かながわP-TECH」とは、教育行政・学校・企業がパートナーシップを結び、協働してIT人材育成に取り組む、高等学校と2年生カレッジ(短大/専門学校など)を統合した5年の公教育学校モデルです。

神奈川県では、日本初の公教育学校同士のP-TECH(かながわP-TECH)として、県立神奈川工業高校・日本IBM・県立産業技術短期大学校が連携して、**次世代IT人材**の育成に電気科生徒を対象に取り組んでいます。

「次世代建築リーダー育成コンソーシアム」とは、**高等学校・専門学校・企業がコンソーシアムを構築し、協働して施工管理技術者育成**に取り組む、高等学校と4年生専門学校を統合した7年の教育モデルです。

神奈川工業高校は、東京テクニカルカレッジ、清水建設と連携し、次世代建築リーダー育成の教育を、建設科生徒を対象に取り組んでいます。

進学にも就職にも強い！理工系なら神奈川工業高校へ！！

進学

- ◆本校では、高校で学んだ専門性を武器に、9割以上の生徒が学校推薦型選抜(指定校制・公募制)または、総合型選抜を利用して進学しています。近年は、各大学この2つの選抜方法での入学者比率が、大部分を占めているため、以前とは違い、工業高校から大学に進学しやすくなっています。進学先としては、主に東京理工系4大学や東京5美術大学を始めとする理工系学部(デザイン科含)や、美術系学部を有する各大学に進学しています。令和5年度は、75名の生徒が大学・短期大学へ進学しました。

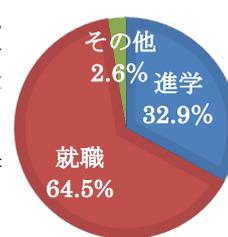
- ◆主な大学進学先(令和5年度実績 現役生のみ)
【私立大学】神奈川大学8名、金沢工業大学1名、関東学院大学2名、工学院大学1名、国士舘大学2名、芝浦工業大学2名、女子美術大学6名、専修大学1名、多摩美術大学1名、中央大学2名、東海大学2名、東京工科大学2名、東京工芸大学3名、東京造形大学5名、東京電機大学3名、東洋大学1名、日本体育大学3名、日本大学4名、横浜美術大学2名、早稲田大学1名 など

就職

- ◆国内有数の大企業を始めとする、多くの企業から求人があります。令和5年度は、就職内定者196名に対して、約3,000社から求人を受けました。工業高校への求人は、多くが非公開求人であり、職種も通常ハローワークで公開されている「技能職」だけでなく、一般的に大卒が就くと考えられている「技術職」が多くあるのが特徴です。本校では、多数の生徒がこの「技術職」への就職を希望しています。

- ◆主な就職先(令和5年度実績)
【公務員】神奈川県内広域水道企業団1名、航空自衛隊1名、陸上自衛隊2名 など
【民間企業】AGC2名、アズビル1名、いすゞ自動車2名、荏原製作所1名、鹿島建設1名、キャノン2名、清水建設4名、大末建設、大和ハウス工業3名、東海旅客鉄道(JR東海)1名、東急電鉄5名、東京地下鉄(東京メトロ)2名、東鉄工業4名、ニコン3名、ニチアス2名、日産自動車2名、日本精工2名、日本電気(NEC)2名、日本電子1名、東日本旅客鉄道2名、富士ソフト4名、富士電機2名、三菱重工業1名三菱電機3名、横浜ゴム1名 など

令和5年度進路先割合



進学: 100名

就職: 196名

その他: 8名